

アンケートの基礎情報

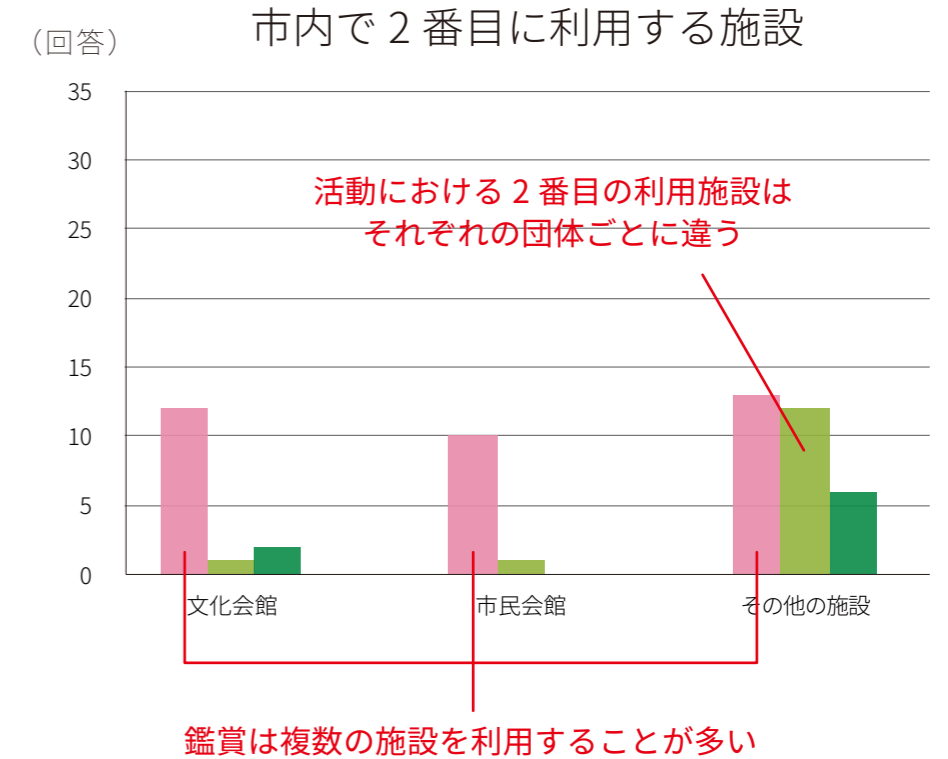
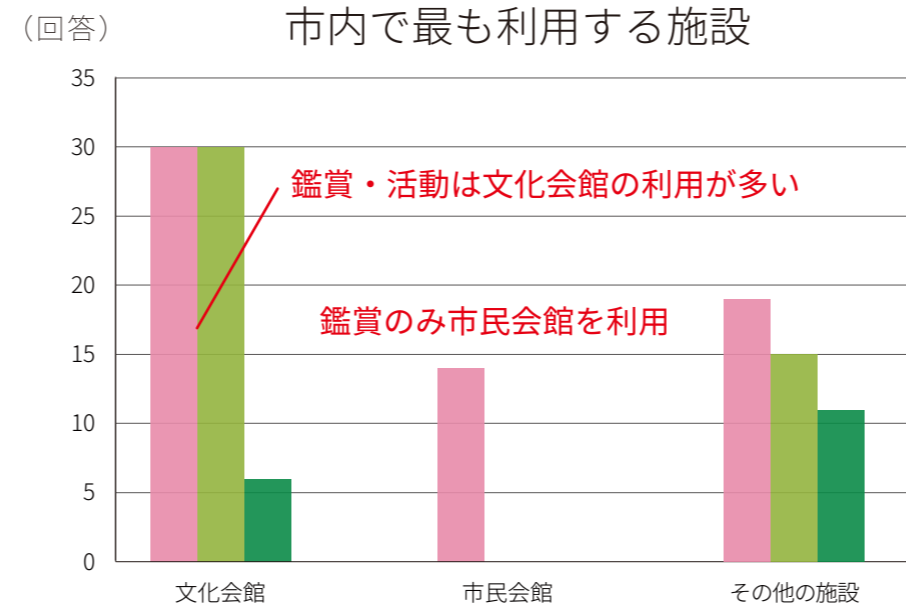
期間 : 2016年6月1日～2016年6月23日
 目的 : 主な複合検討施設の活動状況の把握
 質問項目 : 活動内容, 活動頻度, 利用施設, 利用諸室, 利用時間帯, 利用人数, 利用の理由, etc...
 回答団体数: 125 団体

分析方針

回答の得られた文化活動団体を活動内容に応じて分類

機能	活動内容	団体数
鑑賞	邦楽(舞踊、和楽器、民謡)	23
	楽器演奏(中高吹奏楽部、ブラスバンド)	22
	合唱	16
	演劇	2
活動	ダンス(フラダンス、HIPHOP、バレエ)	16
	文芸(俳句、川柳、短歌、文学)	14
	手芸・工芸(ステンドグラス)	4
	外国語(英会話、ロシア語・韓国語教室)	3
	ヨガ	2
	その他(郷土文化研究会など)	6
展示	茶道・華道	5
	書道	4
	陶芸	4
	写真	3
	絵画	1

各機能ごとの利用施設



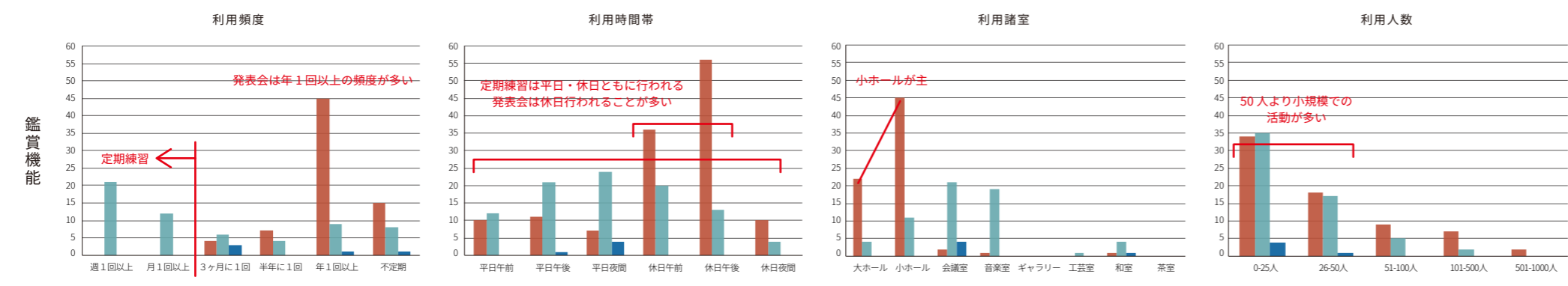
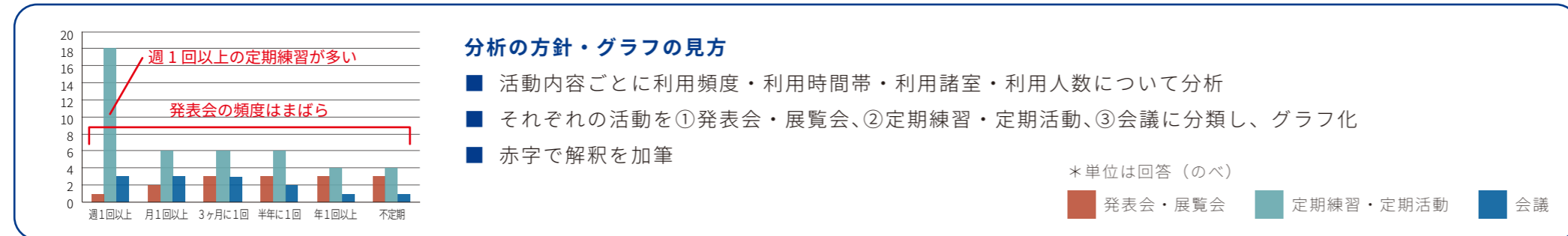
グラフから読み取れる特徴

- 鑑賞に関する団体は複数の施設を利用することが多く、中でも文化会館を利用することが多い。
- 活動に関する団体は文化会館を主に利用している。しかし、2番目に利用している施設はそれぞれの団体ごとに異なる。
- 展示に関する団体の利用施設は団体ごとに異なる。

その他の利用施設

アイビープラザ
市民活動センター
西小学校
中央図書館
総合体育館
男女平等参画推進センター
豊川 コミュニティセンター
沼の端コミュニティセンター
のぞみコミュニティセンター
住吉 コミュニティセンター
ココトマ
植苗ファミリーセンター
三ツ星本店ハスカップホール
苫小牧道新文化センター
美術博物館
第八区総合福祉センター
明野柳町総合福祉会館
グランドホテルニュー王子

鑑賞機能に関する活動内容ごとの分析



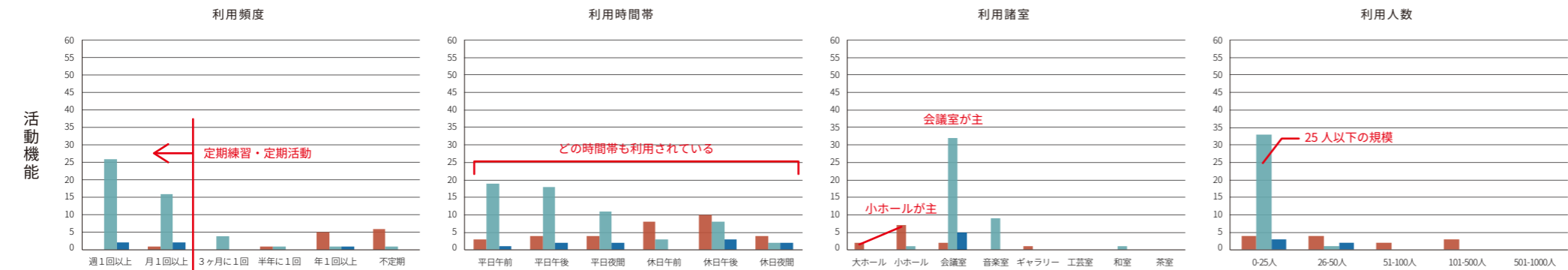
グラフから読み取れる特徴

- 利用頻度について
定期練習は月に1回より高い頻度で行われることが多く、発表会は年に1回の頻度で行われることが多い。
- 利用時間帯について
定期練習は平日・休日ともに多くの団体が行っている。一方、発表会は休日行われることが多い。
- 利用諸室について
定期練習では主に会議室や音楽室を利用し、発表会では500席より小規模のホールを利用する傾向がある。
- 利用人数について
邦楽や合唱は50人より少人数の活動規模が多い。一方、楽器演奏は大人数の団体もある。

	利用頻度	利用時間帯	利用諸室	利用人数
邦楽				
楽器演奏				
合唱				
演劇				

小ホール：500席以下のホールを利用
大ホール：501席以上のホールを利用

活動機能に関する活動内容ごとの分析



グラフから読み取れる特徴

- 利用頻度について
 定期練習・定期活動が主な活動であり、月に1回より高い頻度で行う団体が多い。
- 利用時間帯について
 特徴的な傾向はみられず、どの時間帯も利用されている。
- 利用諸室について
 定期練習・定期活動では会議室が利用されることが多い。ダンスの団体は発表会では500席より小規模のホールを利用することが多い。
- 利用人数について
 定期練習・定期活動は、25人より少人数での利用が多い。

活動機能	利用頻度	利用時間帯	利用諸室	利用人数
ダンス	<p>定期練習・定期活動は週1回以上が主 発表</p>	<p>発表会はどの時間帯も行われる</p>	<p>小ホールが主 定期練習・定期活動は小規模で会議室系の諸室</p>	<p>25人以下の規模</p>
文芸	<p>定期練習・定期活動は月1回以上が主</p>		<p>会議室が主</p>	<p>25人以下の規模</p>
手芸	<p>定期練習・定期活動は月1回以上より高頻度</p>			
外国語				
ヨガ				
その他				

*単位は回答(のべ)

発表会・展覧会 定期練習・定期活動 会議

展示機能に関連する活動内容ごとの分析



グラフから読み取れる特徴

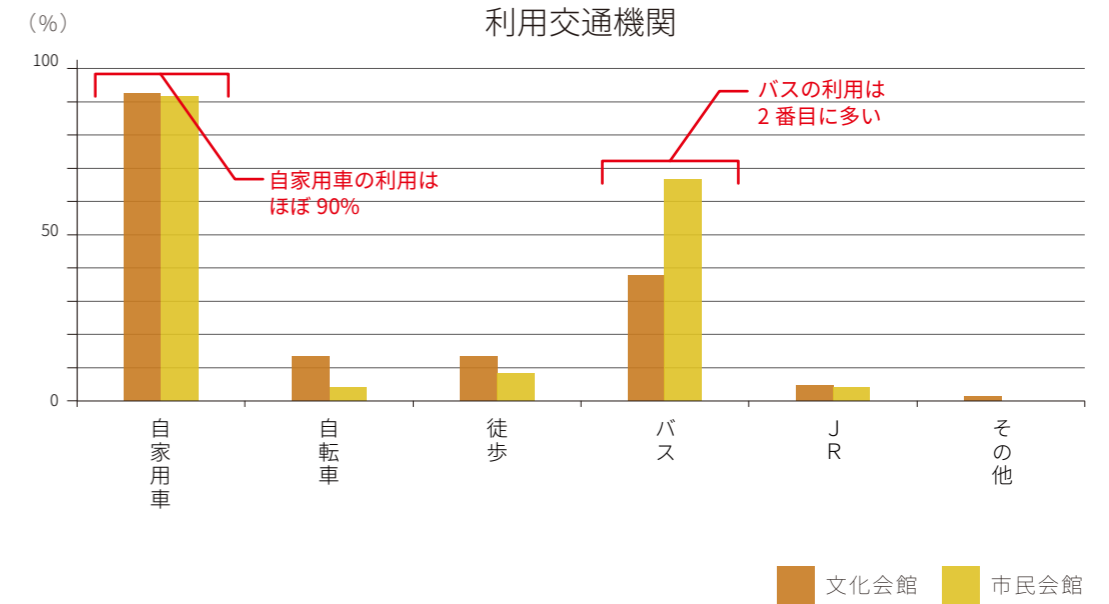
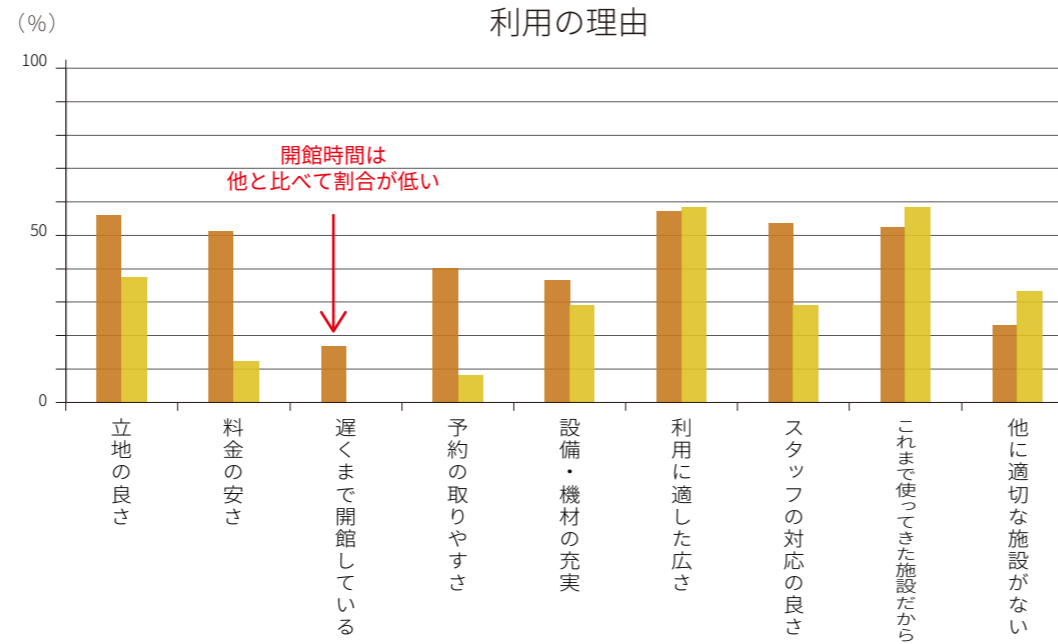
- 利用頻度について
発表会・展覧会は半年に1回より低頻度で行われる。
- 利用時間帯について
特徴的な傾向はみられず、どの時間帯も利用されている。
- 利用諸室について
展覧会はギャラリーで行われることが多い。茶道・華道に関する活動は和室や茶室を利用することが多い。
- 利用人数について
少人数と大人数の二極化した利用に分離している。

*単位は回答(のべ)
 ■ 発表会・展覧会 ■ 定期練習・定期活動 ■ 会議

利用施設ごとの分析

分析の方針・グラフの見方

- 主な複合検討施設ごとに利用の理由、施設に対する意見、利用交通機関について分析
- それぞれの項目における割合を算出し、グラフ化
- 赤字で解釈を加筆



主な複合検討施設

施設名	回答数
文化会館	82
市民会館	24

その他の利用施設

アイビープラザ	28
市民活動センター	11
西小学校	4
中央図書館	4
総合体育館	4
男女平等参画推進センター	3
豊川 コミュニティセンター	3
沼の端コミュニティセンター	2
のぞみコミュニティセンター	2
住吉 コミュニティセンター	2
ココトマ	2
植苗ファミリーセンター	1
三ツ星本店ハスカップホール	1
苫小牧道新文化センター	1
美術博物館	1
第八区総合福祉センター	1
明野柳町総合福祉会館	1
グランドホテルニュー王子	1

市外の利用施設

新ひだか町公民館	1
札幌市民ギャラリー	1
島松公民館・里塚美しが丘地区センター	1

文化会館に対する主な意見

駐車場	常に駐車場が不足している。 駐車場が狭く遠いのが少々問題である。
予約	80歳以上の市民が駐車する場合、利用時間を考慮した上で身障者スペースへの駐車を認めてほしい。 最近、ホールの予約がなかなか取れず困っている。方法を再考して欲しい。 予約が取りにくい時がある。 前日に会場を借りないと、午前中からのリハーサルが出来ない。 行事があると予約が集中して取りづらい。 優先的に予約できるシステムがあるとよい。
設備	夏は換気が悪く、冷房も効かない。 エアコン（冷房）設備が無く、夏使いたくてもホールが暑いので使えない。 空調、クーラー設備を良くしてほしい（第3研修室の真夏は体調不良になるおそれがある）。 照明が暗いのが夜間利用に不便である。 スクリーンの設置、音響の設備が必要である。 コインロッカーが必要である。 窯が古く故障が多い。 今の窯は石油窯ですが、安全面からみても電気窯が望ましい。 棚板、ツク（支柱）等道具の破損品が多い。 備品（展示用器具類、テーブル、イス等）数が不足したり、故障していることがある。数量、性能のチェックをしてほしい。 エレベーターが少し古い。 機械が時代遅れである。 窓から虫が入るので網戸があると良い。 演奏者用の譜面台を新しいものに更改してほしい。 茶室の水屋が狭く、ぶつかりながら歩いている。
諸室	廊下の音が室に入ってくる。 部屋の防音対策（出入口の防音等）、内装材等の充実が必要である。 和室が狭い。 リハーサル室（ピアノ付）が欲しい。 文化会館のホール客席が急に高くなっているので発表する側が困る。 客席からステージへの階段が段差が大きく不安である（特に高齢者）。 座席の奥行がもっと広ければ良い。 ステージ下手側の袖の面積が狭い。 あまりにも客席数が少なすぎる。 会場の座席数が多すぎるので、100~200席くらいだと妥当である。 側面の反響板がないので、音楽ホールとしては使えない。 音響面で舞台袖にも反響板があればいいと思う。 床に段差とすき間があり危険である。 床が滑りやすく困っている。 各階のフリースペースが充実（休憩コーナー等）するとよい。 練習室（鏡のある部屋）をもっと広くしてほしい。 可能ならば、小さくてもグランドピアノの練習室が欲しい。 洗い場が遠いところが少し残念である。 大きな建物ほど災害等を考えて、複雑な構造にしない様にしてほしい。 老朽化が進んでいるため自然災害時に使用している場合、安全性に大きな不安を感じる。
スタッフの対応	スタッフ（受付・技術）の方の対応がとてもよい。 会館スタッフの方々の対応が親切丁寧で大変気持ちよく利用できる。 部屋の施錠は利用者側でなく施設側での対応が望ましい。

市民会館に対する主な意見

料金	使用料が高い（当日リハーサルも備品代がもう一度発生するのに納得いかない）。 もう少し利用料が安くなれば、もっと活用させてほしいと思っている。
設備	新しいホールではエアコンもつけてほしい。 冷房が必要である。 ステージの反響板をきちんとしてほしい。 コインロッカーが欲しい。
諸室	リハーサル室が必要。 市民会館は客席が多すぎる。1000席くらいの会場が良いと思われる。 トラックヤードが小さく、しかもドア1枚で外と舞台裏が筒抜けになってしまうので大きな行事（コンクールなど）で困ることが多い。 ステージ横（待機場所）のフローリングのきしみが気になる。 舞台裏の出入り口のドアが小さいので大型楽器が通り抜け出来ず困っている。
スタッフの対応	いつもスタッフの方々には良くしていただき、とても感謝している。